

# 地域の公共交通を考える 公共交通の利用促進にむけて

問合せ 企画財政課企画グループ ☎2751

| 種類       | 運行内容                       |
|----------|----------------------------|
| 鉄道       | JR 室蘭線、石勝線                 |
| 路線バス     | あつまバス 苫小牧線、千歳線、安平循環線など（1社） |
| せいこドームバス | せいこドーム利用者のみが乗車可能な町営バス      |
| デマンドバス   | 予約制の乗り合いバス（事業主体は安平町商工会）    |
| ハイヤー     | 適時性や行き先の自由度が高い公共交通（2社）     |
| その他      | 通園・通学バス、福祉バス ※利用対象に制限あり    |

実態を肌で感じることから

自家用車での移動に慣れてしまっている私たちが、公共交通を見つめ直し、その役割と必要性について真剣に議論していくためには、客観的なデータ資料だけではなく、自ら利用し、実態を肌で感じることが必要です。

今月号では、JR室蘭線ととりまく状況をお伝えした前号に続いて、「公共交通の利用促進」について特集します。

JR北海道の取り組み

JR北海道では、平成29年7月から「わがまちご当地入場券」を発売。101の市町村の街の表情と鉄道風景を切符に描いており、18万枚を超えるほどの大好評となっています。安平町でも早来駅（物産館）にて販売中で、12月末までに2316枚が購入されています。直接駅に足を運ばないと購入できないことが、鉄道の利用者増につながっている要因です。

その他にもJR北海道では、列車に乗って答えを探しに行く「ドコエキ？鉄道探偵」や冬の北海道ならではの景色を周遊する「北海道旅きらり」シリーズを展開中であり、室蘭線沿線市町でもこうしたJRの取り組みに加えて、公共交通と地域の両面の活性化を目指した連携事業の実施に向けて検討を進めています。



安平町の「わがまちご当地入場券」

安平町の取り組み

町では、町民の日常的な利用を促す取り組みを検討しているところですが、これらに先駆けて、「みんなで乗って活かそう公共交通」を合言葉に、町職員による「ノーマイカー運動」を1月から実施しています。この取り組みは、安平町地域公共交通網形成計画に基づく事業として、職員の健康維持増進、環境への負荷軽減、公共交通の維持・活用を目的とするもので、このほか公務出張でのJR利用に取組むことで公共交通利用を推進するものです。

その他にも、町内の公共交通の運行時刻や路線などが一覧できる「総合時刻表」の作成、あびらチャンネルによる利用啓発を予定しており、今後、こうした利用促進策の展開と並行して、鉄道をはじめとした公共交通の役割と必要性について町民の皆さんと議論を深めていく考えです。

町民の皆さんにおかれましても、例えば地域の行事や団体の定期練習を公共交通のダイヤに配慮して開催したり、

「わがまちご当地入場券」を持参した方には割引やポイント加算を行ったりなど、公共交通を日常生活や地域の賑わいづくりに活かす取り組みを行っていたら、公共交通に対する官民挙げての議論につなげていければと考えています。

## 平成29年度に安平町が実施する取り組み

- ① 職員ノーマイカー運動の実施（ノーマイカーデー初日は1月11日）
- ② 町職員の公務出張時のJR利用（苫小牧市や札幌市への出張時）
- ③ 町広報紙による公共交通特集の掲載（広報あびら1月号と2月号）
- ④ あびらチャンネルによる「公共交通利用啓発CM」の放映
- ⑤ 総合時刻表の作成と提供